

「いい写真」とは何か

長澤琉希 (兵庫県立北摂三田高等学校 人間科学類型)

動機

一枚の写真に約八億円の値段がつけられた。なぜそれほどの値段がつけられたのか。また、写真においての価値とはどう決められるのか気になった。

研究内容

本研究の趣旨は主観が多段に含まれる人の「価値の感じかた」を一般化することにある。そこで、イギリスの哲学者ベンサムが「幸福度」という主観でしかない値を計算によって出す試みに用いられた「幸福計算」の考え方を参考にした。「幸福計算」の考え方とは、簡単に言えば「幸福」の総量を7つの単位に即して出す、というものである。本研究では、この「単位」を「指標」と置き換えて写真の価値の総量を計算によって出し、どのような写真に高い価値が付くのか探る。

研究方法

1. <価値指標を作成する>

写真を点数化するための価値指標を作成する。

2. <アンケートを取る>

多くの人に同じ写真を作成した価値指標を用いて点数化してもらう。

3. <考察>

アンケートの結果を集計し、考察する。

<価値指標>

主観的指標

- ・ 実用的指標…その写真が欲しいと思ったか
- ・ 趣味・嗜好的指標…写真を見て興味が惹かれたか
- ・ 芸術的指標…芸術としての価値を感じたか

客観的指標

- ・ 技術的指標…撮影者の技術
- ・ 希少性的指標…その写真がどれだけ存在するか
- ・ 金銭的指標…その写真にどれだけの値段がついているか

※

ただし、「金銭的指標」は買い手個人で上下する主観的指標となる場合もあるので今回は点数に加味せず考える。

主観的指標の各指標の平均と客観的指標の合計から写真の価値を定める。

アンケートのまとめ

主観的指標（実用的指標、趣味・嗜好的指標、芸術的指標）における点数化の基準

- 0点…全く感じなかった
- 1点…あまり感じなかった
- 2点…まあまあ感じた
- 3点…よく感じた
- 4点…とてもよく感じた

この採点基準をもとにしてアンケートより多くの人に点数化をしてもらい、各指標の平均をとる。

アンケートの回答例



今後の展望

- ・ アンケートは現在回答の受付が継続中なので、もう少し期間が必要。
- ・ 価値指標に改善の余地あり。
- ・ この研究を始めた動機は1枚の写真についての金額だったので金銭的指標を加味した上での研究もしたい。

具体的には、金額以外で定めた価値（今回のアンケート等で定めた価値）の大小とその写真に実際に付いている金額をくらべ、その2つに何か関連性がないか探りたい。

参考文献

ベンサム（Century Books一人と思想） 著 山田英世